

# クイーンズ伊勢丹 笹塚店 リモデル



所在地：東京都渋谷区笹塚1-48-14  
 笹塚ショッピングモール TWENTY ONE 地下1階  
 店舗総面積：3,053㎡  
 売場面積：1,985㎡  
 主：㈱三越伊勢丹フードサービス  
 設計：㈱ガンスアソシエイツ  
 施工：電気/東邦電気工事㈱  
 改修完成：2015年5月

高品質な食品専門のスーパーマーケットとして首都圏に19店舗を展開するクイーンズ伊勢丹が、基幹店舗である笹塚店をリモデルオープン。高演色のLED照明により空間全体の美しい色味の演出と省エネを両立。

## 新しいスーパーマーケットのスタイルを提案し続けるクイーンズ伊勢丹笹塚店

1978年11月オープンのクイーンズ伊勢丹笹塚店は、高品質なスーパーマーケットの先駆けです。今回のリモデルでは、食にこだわる50～70代のアクティブシニア、専業主婦、仕事で忙しい20～30代の単身者や共働き夫婦を主なターゲットに想定し、さらに新しいスーパーマーケットのスタイルを提案。照明設計においても商品の魅力をより引き出し、あらゆる世代のお客様が安全・安心に、楽しく買い物ができるよう一歩一歩進めています。

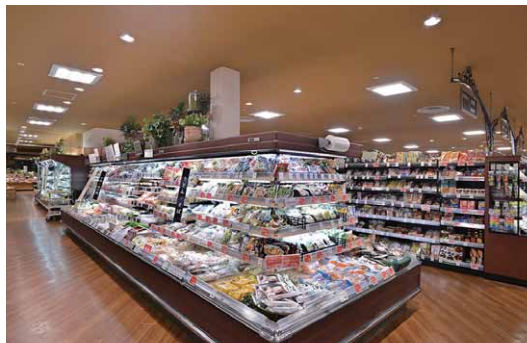
## ベース照明、演出照明ともに高演色のLED照明を採用し新しい光環境を創出

売場の天井高は2.5m～2.8mで、従来はFLR110×2灯用埋込器具をベース照明とし、生鮮食品など一部のエリアに演出照明を設けていました。今回のリモデルでは、ベース照明、演出照明ともに、高演色のLED照明器具を採用し、エリアによって色味の見え方に違いが出ることを防ぎ、商品をより自然に、かつ魅力的に見せる光環境を創出しています。

ベース照明には、3500K/Ra90の特注キレイ色TENQOOスクエア（消費電力60W）下面開放タイプを採用。独自のバー形状により広範囲に光が広がる特性を生かして、動線となる通路上に配置することで、演色性の高い光を商品棚まで届け、日配、グロッサリーなど、すべてのエリアにおいて、お客さまがディスプレイされた商品を見る際にも、また、商品を手に取った際にも良好な色味が変わらない光空間を提供しています。「圧倒的な鮮度感」をテーマとした青果コーナーでは、自然光に近い波長成分をもち、旬の野菜やフルーツが本来もっている自然な色味を鮮やかに表現する、高演色Ra95のキレイ色LEDライトエンジンダウンライト（3500K、消費電力48.6W）を採用。眩しさを抑えたグレアカット30°タイプにより空間の快適性を高め、おすすめ商品の試食や、スタイリスト（販売員）との会話も楽しめる新コンセプトの青果コーナーづくりを実現しています。さらに消費電力においては、照明器具の更新を含めた全電力使用量において従来比20%削減を達成しています。



TENQOOスクエア下面開放タイプが通路に配置された店内。レジ側のパン・製菓材料コーナーから店内奥側を望む



さまざまな色味の商品が並び日配コーナーを高演色の光で演出



広配光のLEDバーで商品棚から通路まで明るさを確保



グロッサリー季節商品コーナーからレジ側を望む



Ra85のLEDライトエンジンダウンライトが配置されたイトインコーナー



(左) TENQOOスクエア下面開放タイプ  
(右) LEDライトエンジンダウンライト

### 主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
各エリア 通路	LEDベースライトTENQOOスクエア(特注)	LEKT750851WW-LD9(改)	47	LED 消費電力:60W(3,500K/Ra90)キレイ色
	LEDベースライトTENQOOスクエア	LEKT750451N-LD9	28	LED 消費電力:34W
青果 コーナーほか	LEDライトエンジンダウンライト 白色深形タイプ	LEDD-17311(W)-LD9	32	LED 消費電力:48.6W(3,500K/Ra95)キレイ色
			6	LED 消費電力:48.6W(3,000K/Ra95)キレイ色
イトイン コーナーほか	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16002M-LD9	25	LED 消費電力:9.8W
			8	LED 消費電力:13.8W